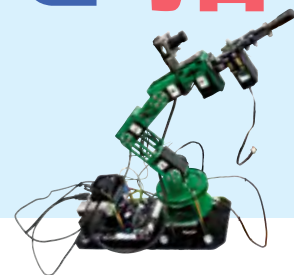
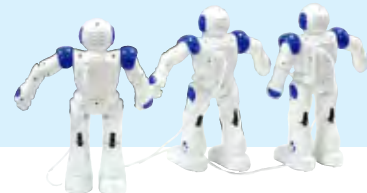


情報学部 国立大学初の設置から30周年 デジタル人材よ、未来を拓け！



創設当初から掲げる 「文工融合」の理念

情報学部長 小西 達裕 教授

専門分野は教育工学。人工知能やプログラム解析などの技術に応用した新しい学習・教育支援システムを開発してきた。



1995年10月に、日本の国立大学で初めて「情報学」の学部として設置されました。当時は、理工系分野の一つと捉えられていましたが、設置時から「文工融合」を学部理念に掲げ、コンピュータシステムをとりまく人間や社会の活動をも視野に入れて、人文科学・社会学からコンピュータサイエンスまで幅広い分野の専門家が集い、学部を作り上げ

てきました。現在、AIやIoT等の最先端技術を学ぶ「情報科学科」、データの利活用やサービス構築を学ぶ「行動情報学科」、社会や人の観点から暮らしやすい情報社会デザインを学ぶ「情報社会学科」の3学科を設置しています。

確かな知識と実社会への 応用力を大事に

全学科、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」に認定されています。大事にしているのは、確かな知識・技術・専門性を身につけること、在学中から、社会へ応用する機会を豊富に用意していることです。



各学科の特色ある授業を紹介

情報科学科

授業：情報科学実験



情報通信システムの核となるハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、データベースの4大要素を学ぶ実験科目。自らの手を動かす実験形態の授業で、知識だけでなく、体身についたスキルを確実に獲得することができます。

ほかに「創造的プログラミング」「知能科学」など

行動情報学科

授業：データアナリティクスⅡ



データサイエンティストへの第一歩として、実際にデータを集めて、処理・分析していきます。これからの社会を生き抜くために必要不可欠な社会調査、統計、テキストマイニング、機械学習技術などを実践的に身につけていきます。

ほかに「ビジネスプランニング」「AIシステム」など

情報社会学科

授業：メディア・コミュニケーション演習



さまざまなメディア現象に目を向け、調査・分析・検証するプロセスを実践的に学ぶ授業です。メディアテキストを分析するのに必要な理論と方法論を学び、実際にテレビCMや映像作品などを分析する演習を行います。

ほかに「情報と法」「社会調査法」など

大学院の情報学専攻に「領域情報学コース」が2025年度からスタート

『令和5年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）』に採択され、大学院の定員を増やし、基盤情報学コース（定員50名）に加え、新たに領域情報学コース（定員35名）を設置しました。

例えばDXを進める自治体、企業について情報システムだけでなく、情報システム以外の仕事はどういう仕組みで行われているか、応用分野の一定の知識を得た上で、情報学を考える、これが領域情報学です。こうした教育を行うために、社会の第一線で活躍する方々が特任教員となり、授業の一部を担当したり、研究のアドバイスをしています。学部生にとっても、実社会での活用を直接聞ける良い環境となっています。

修士課程 総合科学技術研究科 情報学専攻

情報学の総合的視野と産業界の
先進的ニーズに対応する学修

情報学を軸足とした
幅広い応用分野の学修

基盤情報学コース

- 最先端デジタル分野の研究者が全国的にも高いレベルで研究教育を指導
- 地域企業との共同研究を通じた企業ニーズに合致した研究指導と人材育成
- 自治体や地域企業等と連携したインターンシップやPBLを実施

領域情報学コース

- DX人材の育成を目指す戦略の一環として複数の実務家教員による企業での実践例を取り入れた領域情報学の講義・演習
- 他領域との融合を目指した情報学の応用と企業インターンシップ等を通じた実践的な学修の促進

自ら設定した課題の解決と活動発表 高校生探究・情報コンテスト

高校の「総合的な探究の時間」における探究活動の「まとめ・表現」の場として活用できるよう、2023年度から同コンテストを主催しています。



2024年度開催時の高校生によるポスター発表

- 高校生が探究活動・課題研究の成果をポスター発表
- 本学の教員、大学生、大学院生、出場高校の先生が評価
- 同時開催中のテクノフェスタに来た一般の方などが評価

多様な観点から意見が得られ、他の高校生の問題意識も知ることができ、高校生にとって自ら考えるきっかけになっています。

「高校生探究・情報コンテスト」をはじめとした日本国内の主要なコンテスト等での実績を評価する革新的な総合型選抜「アチーバー人材入試」を令和9年度入試から実施します。



くわしくはこちら

静岡大学情報学部30周年 記念事業募金へのご協力 のお願い

情報学部では「情報学の未来を切り拓く！」をテーマに、創設30周年の記念事業を企画しています。多くの卒業生、地域の皆さま、関係企業のご支援のもと発展してきた30年の歩みを記すとともに、情報学の未来を担う学生たちの標（しるべ）とし、進展著しい情報学領域をリードする先進的な学習・実践の拠点となるべく、皆さまからの寄付を募ります。先端教育・研究環境の充実、就職・進学等の支援、Learning Commonsの整備などに役立てますので、ぜひ、この機会にお力添えをいただければ幸いです。よろしく申し上げます。

静岡大学未来創成基金ウェブサイト
<https://kikin.adb.shizuoka.ac.jp>

